

「構造工学論文集」最終原稿作成、シンポジウム等、留意事項

土木学会・構造工学論文集編集小委員会

1. 「構造工学論文集投稿要領」記載の論文容量、体裁に関する規則を厳守して下さい。手書き原稿は一切認めませんので注意して下さい。上記の掲載可の判定は論文内容のみに関するものであり、最終オフセット原稿に形式不備があった場合には、その時点で返却する権利を当編集小委員会は持ちます。
2. 提出する原稿は、投稿要領、原稿見本（下記のホームページから入手ができます。）を参考に、A4判用紙を用いて作成して下さい。
 - 1) 図・表・写真は、オフセット印刷仕上がりが鮮明になるように十分な注意を払い、直接記入またはオリジナルレタリングを貼付して下さい。
 - 2) 原稿見本を参考にして、用紙の上隅に鉛筆でページ、氏名を書いて下さい。
3. 登載料（別刷 100 部を含む）は下記の通りです。

ページ数	6	8	10	12
登載料（円）	24,000	32,000	40,000	48,000

なお、登載料は最終オフセット原稿受領後、連絡先宛に請求します。

4. 別刷については、1論文に対し 100 部を贈呈することとし、事務上、印刷の都合により追加別刷の受付は行いませんので、ご了承下さい。
5. 論文著者に対する論文集の贈呈はありませんので、ご承知おき下さい。
6. 最終原稿の提出には下記にしたがって下さい。
 - 1) 提出物：同封の「構造工学論文集 A 論文送付票（最終）見本」を参考にして、所定の事項を記入した送付票を作成の上、以下のものをご提出ください。
 - a) 送付票と最終オフセットオリジナル原稿
 - b) a)のコピー 1 部
 - c) 送付票のコピーと**最終オフセットオリジナル原稿の 1 枚目のコピー 1 部**
（プログラム編成，論文集目次作成に利用します。）注記：最終原稿の論文名、著者名の投稿時からの変更は原則として認めませんが、やむを得ず変更する場合は送付票の備考欄にその旨を明記するとともに、必ず理由書を添付して下さい。
 - 2) カラー印刷について：3. の登載料の他に 1 ページ当り 50,000 円 でカラー印刷を希望することができます。カラー印刷を希望する場合には論文送付票の該当欄にカラー印刷を希望するページを記入して下さい。
 - 3) 提出先：土木学会構造工学委員会構造工学論文集編集小委員会
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目無番地 担当 橋本剛志

E-mail:hashimoto@jsce.or.jp , TEL : 03-3355-3559 , FAX : 03-5379-0125

4) 提出期限 : 2005 年 1 月 17 日 (月) (必着)

締切後、日程上ただちに印刷に入りますので厳守して下さい。

7 . 登載された論文は第 51 回構造工学シンポジウムで発表していただきます。日程は以下の通りです。プログラムは、2005 年 2 月末までに、以下のホームページに掲載される予定です。また、土木学会誌2005 年3月号会告にプログラムの入手方法を掲載します。

開催期日 : 2005 年 4 月 4 日 (月) , 5 日 (火)

開催場所 : 九州大学箱崎地区

ホームページ : (<http://www.doc.kyushu-u.ac.jp/kouron/vol51-program.html>)

注) 日本建築学会からも、本論文集の姉妹誌として建築部門を対象とした構造工学論文集 Vol.51B が刊行され、同日同会場 (並行セッション) にてシンポジウムが開催されます。建築部門に関する詳細は建築雑誌 (日本建築学会) の会告に掲載されます。

8 . 構造工学論文集 Vol.51A は2005 年 3 月中旬に販売を開始します。シンポジウム当日会場にての販売も行いますが、事前に購入を希望する場合は、論文送付票の該当欄にその旨記入して下さい。この場合、代金の請求は登載料の請求と合わせて行います。

なお、平成 8 年度より構造工学論文集の自動継続型事前購入 (定期購読) の制度を設けました。既にお申し込み頂いた方には、自動的に論文集と代金請求書をお送りいたします。まだお申し込み頂いていない方で、ご希望の方は同封の事前購入 (毎年継続) 申込書にてお申し込み下さい。

構造工学論文集 Vol.51A 定価 6,000 円 (送料別途1,000円)

同封 :

- 1) 全体講評および修正意見
- 2) 修正原稿新旧対照表記入用紙
- 3) 構造工学論文集 A 論文送付票 (最終) およびその見本
- 4) 構造工学論文集事前購入 (毎年継続) 申し込み用紙

修正原稿新旧対照表記入用紙および構造工学論文集 A 論文送付票 (最終) のファイルは、下記の構造工学委員会のホームページにある構造工学論文集編集小委員会のページからも入手可能です。

(<http://www.doc.kyushu-u.ac.jp/kouron/index.html>)